

総務文教常任委員会

委員長 義浩
副委員長 一英
委員 子貫 智美 山小 黒林 閑野 小
千葉 新島 大黒 林 閑野 小
義浩 一英 子貫 智美 山小 黒林 閑野 小
夫幸 高正 幸高 正

熊谷市PFI事業等審査会条例について

問 この条例に該当する事業について伺いたい。

答 熊谷市PPP/PFI導入ガイドラインの中に、建設費10億円以上が見込まれる事業は、その整備手法を検討する旨の規定があり、現在、(仮称)道の駅「くまがや」および子育て支援・保健拠点施設について、進め方を検討している。

問 審査会の所掌事項の項目が規定されていない点について伺いたい。

答 第1条に総括的に規定しており、具体的な事項については、事業によって資金調達方法等が異なるため、事業ごとに立ち上げる審査会で定めていく。(施設マネジメント課)

令和3年度熊谷市一般会計予算(総務費・教育費)について

問 荒川公園周辺再整備事業について、整備を想定しているエリアと計画を伺いたい。

答 整備エリアは、2025年に耐用年限を迎える市民体育館と荒川公園を含めたエリアを想定している。基本計画では市民体育館と荒川公園を

一体として整備を考えており、事業の進捗状況に合わせて基本計画案に係るパブリックコメントを実施するなど、市民の方からご意見を頂く機会も設けていく。

問 「総合戦略」英語教育推進事業について、GTECを利用している目的を伺いたい。

答 GTECは、授業で学んだ英語を実際に使う手応えを感じることができ、生徒自身が英語力の伸びを実感して、主体的に英語に取り組み力を育てることができると利用している。(スポーツ観光課、学校教育課)

令和2年度熊谷市一般会計補正予算(国庫支出金)について

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、活用方法を伺いたい。

答 当該交付金は、国が示した対象外経費を除いて、地方の裁量で決めることができることとされており、本市では感染症対策の実施と事業継続を図るため、ゆうゆうバス事業者や、指定管理施設の指定管理者への支援等を行っていく。(企画課)

環境産業常任委員会

委員長 広己
副委員長 政幸
委員 昇也 昇也 昇也 昇也
石川 沼上 原山 中島 白根

熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例の一部を改正する条例について

問 今回の改正による影響・効果を伺いたい。

答 就職内定者を対象としており、若年層の転入増加につながり、地域の稼ぐ力の向上に効果があるものと考ええる。(商工業振興課)

熊谷市工場立地地域準則条例について

問 屋上緑化、壁面緑化等の重複緑地について、緑地面積率の50%まで算入できるように緩和した理由を伺いたい。

答 限られた敷地の中で緑地を確保するための選択肢を広げ、企業のインセンティブを高めるものである。(商工業振興課)

令和3年度熊谷市一般会計予算(衛生費・商工費)について

問 クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業について、個人宅の樹木の被害

も補助対象となるのか伺いたい。

答 補助対象となることは広報しているが、実績が少ないため、被害木の伐採に対する補助に加えて、薬剤などで治療する経費が新たに補助対象となることも併せて周知を図りたい。

問 「総合戦略」空き店舗活用支援事業について、先進的な開業事例を伺いたい。

答 インターネット上で複数のプレイヤード対戦するeスポーツ施設の出店があり、地域のニーズに応えた事例があった。(環境政策課、商工業振興課)

令和2年度熊谷市一般会計補正予算(商工費)について

問 「STOP」コロナ テイクアウト応援事業について、クーポン券の配布方法や取扱店舗を伺いたい。

答 市報の同時配布物によりクーポン券を配布し、熊谷商工会議所が実施しているテイクマヤ、くまがや市商工会の特設サイト等に掲載されている店舗に取り扱いをお願いする予定である。(商工業振興課)

市民福祉常任委員会

委員長 理裕
副委員長 鈴木 久保 照夫
委員 桜井 くるみ 大森 野守 賢
委員 久保 照夫 澤屋 賢
委員 大森 野守 小田 中

令和3年度熊谷市一般会計予算（民生費・衛生費）について

問 「総合戦略」ことも医療費助成事業における市税等の完納要件の検討状況を伺いたい。

答 市税等の滞納者に、納付を動機づける一定の効果が認められたこと、また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮し、令和3年4月1日から当面の間、市税等の滞納による受給資格停止を解除し、助成対象とする予定である。

問 誕生祝金支給事業について、継続的な事業とするのか伺いたい。

答 子育て支援基金を財源としており、当面の間継続していく予定である。（こども課）

問 母子保健事業について、新生児聴覚スクリーニング検査の受診費用に対する助成内容を伺いたい。

答 妊娠届出の際に配付した助成券を使用し、出産後、産科医院入院中に検査を行い、その費用の一部を助成するもので、助成金額は検査方法により、5千円または3千円とした。（母子健康センター）

令和2年度熊谷市一般会計補正予算（民生費・衛生費）について

問 ワクチンの保管を行う超低温冷凍庫の市内への設置計画を伺いたい。

答 国から配分される超低温冷凍庫は集団接種会場に3台、接種実施医療機関に12台、計15台の設置を計画している。

問 高齢者施設PCR検査等助成事業について、対象者と財源を伺いたい。

答 専任、兼任、常勤、非常勤を問わず、施設入所者と接する機会がある方を対象とし、財源の一部に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用を見込む。（健康づくり課、長寿いきがい課）

令和3年度熊谷市後期高齢者医療特別会計予算について

問 保険料の軽減措置に関する変更点とその影響人数、影響額を伺いたい。

答 軽減の割合が令和2年度の均等割7・75割から7割軽減に縮小され、約5千人、1人当たり約3千円の負担増が見込まれる。（保険年金課）

都市建設常任委員会

委員長 菜穂子
副委員長 山下 一男
委員 田岡 美吾
委員 福富 須弥
委員 須関 清

熊谷市手数料徴収条例の一部を改正する条例について

問 低炭素建築物計画認定申請において、市内ではどの程度該当するのか伺いたい。

答 市街化区域における新築する建築物全てが該当する。（建築審査課）

熊谷市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

問 事業計画の変更理由を伺いたい。

答 事業計画区域内の下水道整備率は85%であり、今後整備を重点的に進めていくため計画区域を拡大するものである。（下水道課）

令和3年度熊谷市一般会計予算（土木費）について

問 籠原駅南口線道路改良事業の家屋等移転補償金について、何件分に相当するのか。また、計画の進捗状況について伺いたい。

答 家屋等の補償13件、残地補償3件を予定し、令和2年度までの進捗率は72%程度である。

問 緊急輸送道路閉塞建築物耐震化支援事業の進捗状況と課題について伺いたい。

答 対象物件22棟のうち1棟について耐震診断の補助申請を受けているが、耐震改修に多額の費用を要し、耐震化が進まないことが課題である。（建築審査課、道路課）

令和3年度熊谷市水道事業・下水道事業会計予算について

問 泉水を購入しているが、自己水とのコストの比較と今後の購入の比率について伺いたい。

答 自己水を使用した方がコストは抑えられるが、枯渇等に備え泉水を30%購入しており、今後も維持していく。

問 下水道使用料徴収業務の費用対効果について伺いたい。

答 職員1人分の人件費に相当する年間約500万円の削減効果がある。（経営課、水道課）